

第1回企画等専門調査会(平成23年11月21日)資料  
 「<平成23年度>食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補について(案)」抜粋

評価課題／危害要因	危害要因に関する概要等	国内外における評価状況、管理状況等
ヒラメ毒	<p>・厚生労働省:平成23年6月17日付食安発0617第3号「生食用生鮮食品による病因物質不明有症事例への対応について」  <a href="http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/gyousei/dl/110617_02.pdf">http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/gyousei/dl/110617_02.pdf</a>                      クドア・セブテンブクタータを含めクドア属の寄生虫は、魚類に寄生し、ヒトには寄生せず、これまで公衆衛生上は無害とされてきた。一般にゴカイ等の環形動物を介して魚に感染すると考えられており、魚の筋肉(身)をゼリー状にしてしまう種類はあるものの、人体には直接的な影響はないとされてきた。</p>	<p>〈国内〉                      ・食品安全委員会による評価状況:なし。自ら評価候補として検討(H22(2010))。                      ・厚生労働省:食安発0617第3号「生食用生鮮食品による病原物質不明有症事例への対応について」  <a href="http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/gyousei/dl/110617_02.pdf">http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/gyousei/dl/110617_02.pdf</a>                      関係事業者等に対し食中毒の発生防止に努めるよう指導が出され、リスク低減措置が実施されているところ。厚生労働省は原因物質の特定に係る調査、研究については、引き続き実施するとしている。                      ・農林水産省:平成23年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業において、養殖ヒラメに寄生する新種のクドア属粘液胞子虫の簡易検査法の開発等に係る課題を実施中。                      〈海外〉                      ・現在までのところ、海外の評価機関での評価は行われていない。</p>